

平成17年10月
松山事務所

「日本政策投資銀行地域トーク in 愛媛」開催
21世紀の世界潮流と地域
～四国・愛媛の進路～

弊行では10月28日愛媛県における情報提供活動の一環と致しまして“地域トーク”を開催しました。今回は『21世紀の世界潮流と地域～四国・愛媛の進路～』と題しまして株式会社三井物産戦略研究所 所長 寺島 実郎氏をお招きし混迷する21世紀の世界潮流の中で地域社会はどのような役割を果たすべきか、愛媛の自立的発展をいかに進めていくべきかについてお話頂きました。

- (1) 日時 平成17年10月28日(金)
- (2) 場所 全日空ホテル松山

寺島氏発言要旨

21世紀に入り世界は今までにない高成長期に突入しました。途上国も含めて世界全体で4%前後の高成長を成す「高成長の同時化」という軌道の中にいます。

その要因としては、グローバリゼーション・人口増加・戦争経済等様々です。その中にあって日本の経済状況はどうかというと実にバランスが悪いと言えます。つまり「産業内二極分化」や「川上インフレ、川下デフレ」というねじれた構造に陥っています。さらに近年の中国、大中華圏の台頭により今まで日本が成り立ってきた貿易においても失速している状況です。

そこで今の日本人に必要なことは新たな時代認識能力なのです。今まですべて対米で行ってきた政策を転換せざるおえない状況を理解し、日本海側へ意識を向ける時代だということ。

そこからこの地域が活性化する上での対策が見えてくるようになります。

